

自己評価報告書・要約版

平成31年3月31日現在

日本柔道整復専門学校

項 目

基準1 教育理念・目的・育成人材像

基準2 学校運営

基準3 教育活動

基準4 学修成果

基準5 学生支援

基準6 教育環境

基準7 学生の募集と受入れ

基準8 財 務

基準9 法令等の遵守

基準10 社会貢献・地域貢献

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校を有する（学）花田学園は昭和 31 年（1956 年）の創立以来 60 年以上にわたり、『優秀な治療家の育成』を教育目標とし、鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師並びに柔道整復師のリーダーたる人材の養成に心血を注いでいる。また、『豊かな人間性と優れた学・技を兼ね備えた医療人を育成する。』を教育理念とし、良き医療人である前に、良き社会人であることの必要性を説いている。</p> <p>教育理念、教育目標については、学校案内や HP 等の広報媒体に明記しているとともに、学校説明会等においても説明しており、教職員・学生への周知はもとより、その他の関係者に対しても十分な公表がなされていると考える。</p> <p>育成人材像については、基本的な要素は変わらないものの、社会情勢の変化に伴う様々な問題を明確に捉え、変化が認められることについては柔軟に対応することが求められる。</p>	<p>社会情勢の変化や医療・健康に対する社会のニーズを踏まえ、より具体的な育成人材像を設定する。</p> <p>教育目標を達成するために、将来の本校のあるべき姿をもとに中期計画を策定し、その実現に向け見直しを図りながら教職員が一体的な取り組みを行っていく。</p>	

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の運営方針は、法人の事業計画の中に含め明記しているが、直近における中期計画は未策定のため連動が図れておらず、中期計画の早期策定が必要である。</p> <p>寄附行為や組織規程等に基づき、理事会、評議員会をはじめ組織運営は適正かつ円滑に行っており、専門学校の個別案件や課題は、部長主任会議で協議・検討している。今後は課題やテーマ毎に委員会やプロジェクトチームを弾力的に組成し、早急に問題解決を図る体制を構築していきたい。</p> <p>人事関係の規程は整備し、適切に運用を行っている。今後は定年年齢の見直しや処遇を含めた再雇用制度の見直しも必要となってくると思われる。また、人事考課制度が未整備につき、その整備も必要となってくる。</p> <p>平成 30 年度に、学生管理システムを従来のものに比べ、より汎用性の高いシステムを導入。今後運用していく中で、より使いやすいシステムを構築していく。また、個人情報をはじめとしたセキュリティ対策にも注力していく。</p>	<p>今後の学校運営を見据えた中期計画を策定し、そこに列挙された課題、改善点に優先順位を付けた上で、着実に解決していく。</p> <p>社会の趨勢である定年年齢の引き上げの検討や人件費率の是正のための再雇用後の処遇見直しを行っていく。</p> <p>新システム導入後の管理項目の充実と、「Web ポータルサービス」導入を検討。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度に学生管理に関するシステムを変更。 <p>(変更前) 「学校情報システム」(…本校のために開発された独自システム)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(変更後) 「info Clipper」(汎用の学生管理システム) 「info Cloud」(汎用の学生募集システム)</p>

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>国家試験合格という一つの目標とともに、教育理念にあるように優れた知識と技術を持った人材の育成を目指し、医療人として信頼される人格形成を教育目標としている。</p> <p>1 年次では基礎的な科目を学び、これらの基礎的な知識をもとに 2 年次、3 年次では臨床に即した科目を学ぶよう構成している。また、専門科目の実技においては、臨床の現場で活躍している講師が担当し、より実践的な手法を学び、卒業後に活かせる内容となっている。</p> <p>成績評価の基準や既修得科目の認定等の制度については、学則施行細則に規定し、学生にも明示したうえで適切に運用している。</p> <p>通常のカリキュラムを怠ることなく取り組むことを徹底し、そのうえ習熟度・理解度を考慮して様々なアプローチから学力の向上に努めている。在校生のみならず卒業生も含めて国家試験合格に向けた特別授業や補講を行っている。</p> <p>教員はそれぞれの領域において専門性を持ち取り組んでいるが、各分野に複数の教員が携わることで非常時においても一定水準の教育の質が担保できるように努めている。</p>	<p>授業評価については、現状の学生からのアンケート調査をベースにして、今後評価実施体制を構築していく。</p> <p>医療人を育成する教員にとって新しい知識の補充は当然のことであるが、特にカリキュラムで新しく追加された科目・項目については、関連する知識の習得のため積極的な学習機会を設けていく。</p>	<p>当法人内には本校のほか、鍼灸あん摩マッサージ指圧師の養成施設である「日本鍼灸理療専門学校」と鍼灸師、柔道整復師および看護師養成の課程を持つ「東京有明医療大学」の 3 つの学校が設置されている。</p> <p>本校には昼間部と夜間部があることから、学生の年齢層や経歴は幅広いものがある。</p> <p>また附帯教育として、アスレティックトレーナー専攻科があり、(公財)日本スポーツ協会公認のアスレティックトレーナーなどの資格取得を目指す環境も備えている。</p>

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>ほとんどの学生が専門知識を生かせる接骨院や医療機関、スポーツ関連施設へ就職している。また附帯教育のアスレティックトレーナー専攻科で学び、アスレティックトレーナーとして活躍する者や、更なる知識・技能の習得のため鍼灸校への進学を希望する者もみられる。</p> <p>学校全体の国家試験合格率については、全国平均を上回ってきたが、本年度は若干の未達（新卒者は達成）となり、新卒者、既卒者ともに更に合格率を上げていく必要がある。</p> <p>近年では進路変更や、勉学への興味を失うなどの理由による退学者の問題が挙げられる。これらの解決のためには、各々の教員が学生一人一人と向き合いながら、仕事の面白さであるとか、社会に貢献できる仕事であることを伝え続け、勉学への興味を維持させていくことが必要である。</p> <p>約 6 千名の卒業生を輩出しており、業界団体や研究機関で活躍している卒業生も多く、学会での発表や業界での様々な活動が報告されている。</p>	<p>同窓会等を通じ、卒業生の開業状況を把握し、本校 HP において紹介することで、卒業生との繋がりを維持するとともに、学生の就職先の確保にもつなげたい。</p> <p>意欲が低下している学生を、早期に見出し、フォローできるような仕組みを構築し、休・退学者の減少を図る。</p>	<p>附帯教育のアスレティックトレーナー専攻科は現在 17 期目に入り、350 名以上の修了生のうち約 160 名が日本スポーツ協会公認のアスレティックトレーナー資格を取得しており、その実績はトップクラスのものとなっている。</p> <p>国家試験が 3 月に実施されることや、業界の慣例的に就職活動が遅くなる傾向にあり、就職状況の正確な把握は困難な部分がある。</p>

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では、クラスにおいて入学から卒業までの3年間を一人の教員がサポートする担任制を採用している。担任は、学生の成績、出席管理はもとより、生活指導や学費、心身に関する諸問題、卒後の進路・就職に関しても相談に乗り、親身に対応している。また必要に応じ、教務部長や主任が面談し、計画的な指導を行っている。学習面において一定の成績を満たさない学生や生活面で遅刻・欠席が目立つ者については、保護者・保証人に連絡を取り、協力を要請するなど改善に向け対応を行っている。</p> <p>学校独自の奨学金制度は無いが、公的な奨学金や教育ローンの他、教育訓練給付金等の利用に関し、きめ細かい相談体制を敷いている。</p> <p>卒業生には卒後教育として、在学中のカリキュラムでは学べなかったことや、最新のトピックスを紹介できるよう卒後臨床研修を開催している。</p>	<p>専門の就職担当部署の設置を検討するとともに、求人情報の管理方法も見直しをしていく。</p> <p>健康管理体制においては、将来に対する不安や周囲との人間関係に悩みを抱える学生も少なくなく、担任をはじめとして問題解決を図っているものの、教員には話しづらいと考えている者のおり、専門家（臨床心理士）を配置した相談窓口を設置する予定である。</p> <p>卒後研修について、卒業生に幅広く周知するとともに、内容の充実や開催時期・回数の見直しを引き続き行っていく。</p>	<p>本校では夜間部を設置しており、社会人学生の受け入れ体制も整っている。</p>

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校校舎は竣工後 22 年が経過し、順次設備の更新需要が発生してきており、教育用機器備品を含めた計画的な買替、更新計画が必要となってきた。また、附属臨床施設が入居するビル（築 40 年超）の抜本的な対応も検討。</p> <p>新カリキュラムに伴い、外部施設における臨床・臨地実習が開始されている。対象施設の拡大と、臨床実習の質の均一化、向上が今後の課題となってくる。</p> <p>危機管理規程や防災管理規程等の規程は整備済み。学生に対しては、オリエンテーション等で避難場所の確認、防災設備や緊急時の対応について周知を図っている。また、消防や警察による講座を開講し、防災・防犯の意識向上に努めている。</p>	<p>中長期的な設備更新計画を作成し、計画的な対応を行っていく。</p> <p>具体的な行動の指針（危機管理マニュアル）を今後作成し、学生への配布を検討。</p>	<p>厚生労働省認定の養成施設であり、法令で定められた施設・設備を遵守している。平成 9 年に竣工した新校舎は新たな基準による耐震構造、防火対策がとられている。</p> <p>入居するビル（区分所有）内に、本校と日本鍼灸理療専門学校が 2 校あり、フロアにより概ね区分し使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 階 職員室（共用） 2 階 本校 3 階 日本鍼灸理療専門学校 （図書室他一部共用） 4 階 日本鍼灸理療専門学校 地下 1 階 本校（柔道場）

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専修学校各種学校協会の倫理規定に従い、学生募集活動を行っている。入学選考手続きも募集要項に記載されているとおり、適正に行っている。</p> <p>募集活動は、学校説明会の開催のほか、体験入学会なども実施している。また、HP でも卒業生の進路・活躍情報や、国家試験合格率、就職実績などを志願者に分かりやすく伝える工夫を行っている。また、指定校を中心に個別の高校訪問も行っているが、先方の進路指導の先生が多忙なため、なかなか面談アポが取れないのが実状である。</p>	<p>今後、入学試験をはじめ、手続きも含めた制度を見直すための委員会の立ち上げを検討していく。</p> <p>また、募集活動については、HP や学校案内等の広報物に関し、専門家のアドバイスを受けるとともに、学校訪問や学校説明会についても引き続き工夫を加え、改善を図っていきたい。</p> <p>学納金の水準は、他校と比べほぼ平均的であると認識しているが、外部での臨地・臨床実習機会が増え、実習費用が増加する傾向にある。他校との競合を含め定員確保が厳しい中ではあるが、学納金の見直しを慎重に検討していく。</p>	<p>年々、大きく定員欠員の状態が続いており、早急な対策・検討が必要（特に夜間部）。</p> <p>本学園の日本鍼灸理療専門学校および東京有明医療大学の在校生、卒業生を対象とした学内入試制度（学納金に関する特典あり）を設けている。</p>

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成 21 年度に開学した東京有明医療大学の定員未達の影響を受け、財務状況は厳しいものがあるが、学生数の増加に伴い徐々にではあるが改善してきている。一方、専門学校においても、夜間部は定員未充足で、昼間部については定員を充足しているものの、受験者数は年々減少してきており、今後の見通しは楽観できない。</p> <p>予算編成に関し、経理規程に定められた手続きに則り作成されており、補正措置も適正に行われている。</p> <p>監事監査および公認会計士による第三者監査は適正に行われているほか、私立学校法に基づき、義務付けられている財務情報は HP にて公開されている。</p>	<p>東京有明医療大学保健医療学部が定員未達であるほか、専門学校においても夜間部の定員未達の影響により、財政状況は厳しい環境にあり、学生の確保が喫緊の課題となっている。</p> <p>また、今後の設備更新や教育機器の入替需要を考慮すると、財務を含めた中期計画策定による将来に備えた方針決定が必要。</p>	<p>平成 21 年の東京有明医療大学の開学費用（土地取得費用、校舎建設費等）のために、それまでに蓄積された剰余金のかなりの部分が費消された。</p>

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校教育法、専修学校設置基準、養成施設指定規則等を遵守し、適正な運営を行っている。</p> <p>個人情報保護に関する規程を整備し、適切な運営を行っている。また、教育情報に関しても、HP や学校案内等の広報物で積極的に公開している。</p> <p>インターネット環境については、入口にセキュリティ装置（FortiGate）を設置、HP も SSL 化（https://）対応を行った。</p>	<p>自己評価実施しているが、HP での結果公表は今年度から行う予定。また、学校関係者評価も今年度より実施する。今後は自己評価の内容充実を図り、PDCA サイクルに基づき更に改善を加えていく。</p>	<p>平成 30 年度の東京都の指導調査においても、適正な運営がなされているとの評価を得た。</p>

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関連業界団体の研修会や総会等に会場を提供したり、町内会の催事にも積極的に参加するなど、地域・社会貢献活動に注力している。</p>		